

歴民だより

発行
新座市立歴史民俗資料館
片山一丁目21番25号

電話
048-481-0177
FAX
048-481-0149

rekimin@city.niiza.lg.jp

第24号 (平成30年11月)

文化の日 特別講座 平成30年11月3日(土・祝)



松竹寛山 平林寺老大師
名刹平林寺『禅の世界』を語る



まつたけかんざん 室号は江楓室
しつごう こうふうしつ

平林寺第二十五世老師

平林僧堂師家

平林寺二十三世系原圓應老師及び
いのほらえんのう

ののむらげんりよう

二十四世野々村玄龍老師の法を継が
れしました。その間、副司寮、知客寮、
きこうりよう
紀綱寮などを歴任し、平林寺副住職を
経て、平成二十三年から平林寺住職と
なりました。

講演は申込開始早々に定員に達
し、多くの方々にご参加いただきま
した。

今回は会場を展示室とし、松平信
綱関係史料や平林寺から借用資料
の展示品があり、講演の中で活用・
紹介することができました。

修行のお話を通して、参加者は飽
きることなく、熱心に聞き入ってい
ました。また講演中には笑いもあ
り、和やかな雰囲気でした。

公案 (禅問答)

せきしゅおんじよう
〔隻手音声〕

両手を打てば音がするが
片手を打つとどんな音がするか

「十三夜に歴民でお月見呈茶」を開催しました

旧暦の8月15日の夜に「十五夜」のお月見をしますが、その後の旧暦の9月13日の夜にも「十三夜」のお月見をすることをご存じですか。

昔は、十五夜をやって十三夜をやらないのは「片月見」といって縁起が悪いものとされていました。

今年は10月21日（日曜日）が十三夜の日となりました。安定しない天気が続いていましたが、この日は晴れ、「十三夜に曇りなし」といわれているとおりの天気となりました。

歴史民俗資料館では、十三夜飾りに、ダンゴを13個作り、作物やススキと一緒に供えました。

夜6時から市民ボランティアの方々のご協力により、月にまつわる話を聞きながらの「お月見呈茶」を開催しました。

会場はあふれるほどの盛況でした。



月の話を聞きながら



きれいに月が見えました



十三夜飾り



12/2(日)「親子でミニチュア土偶を作ろう」を開催します

すでに
定員と
なりました



夏休みに小学生を対象として開催し、大変好評をいただいた「歴民ドキ土器教室」。「大人も作りたい!」との声にお応えして、来年の干支「猪」の土偶を作る親子講座を企画したところ、受付初日に定員となりました。今後も様々な講座を企画してまいりますので、市広報でご確認ください。

歴民の園庭から

この夏の厳しい暑さを乗り越えた園庭の植栽。このたび、剪定、草刈りを終え、すっきりいたしました。今まで草木に隠れていたものも、見えるようになりました。

今回ご紹介するのは、シュロです。シュロはヤシ科のシュロ属で、幹は円柱形で暗褐色の繊維に覆われています。庭や公園などで多く見かけます。さて、そのシュロの葉を活用して昔はハエ叩きやカゴを作ったり、樹皮を利用してホウキやタワシを作っていたようです。

「おばあちゃんが作っていたなあ」といったお声をいただきながら、歴民では、その道具の再現を試みました。

シュロはその他にも、お寺の撞木（鐘突き棒）として幹が使われているところもあるようです。身近にあるシュロですが、幹を葉も樹皮も活用できる万能な木だったのですね。



シュロの木



歴民の試作品